

令和 6 年度第 4 回 市長と語ろう！うべ未来トーク（会議要旨）

日 時	令和 7 年 3 月 12 日（水） 18 時 00 分 ～ 19 時 15 分
場 所	本庁舎 3 階 3-4 会議室
テ ー マ	宇部市の今後の産業振興
出 席 者	○ 篠崎市長 ○ 宇部商工会議所 工業部会 市内企業経営者等（9 名）、事務局（2 名） ○ 産業経済部長・次長、商工振興課 ○ 事務局（広報広聴課）
内 容	○ 市が支援しているスタートアップ企業の事業が軌道にのるまでの期間は、どのくらいを想定しているか。 ▶ 10 年後に成果をもたらすことを期待している。地元企業に経済波及効果を生んでいくことが重要である。（市長） ○ 宇部市の特色を生かした成長産業やベンチャー企業が立ち上がっている。最終的に一大産業に成長していく際には、サプライチェーンの構成企業としてぜひ地元企業に参加させてほしい。 ▶ 宇部全体の経済が良くなることを目指しているため、核となる企業が地元企業への経済波及効果を引き起こし、その事業に関わっている企業が宇部市に拠点を設け、地元企業をさらに巻き込んでほしいと考えている。どのような仕組みがあれば、地元企業と連携していけるのか、商工会議所の皆さんと一緒に考えていきたい。（市長） ○ 地元の人も地元企業のことを知らない。学校の先生も地元企業について知っていただけていない。採用したくても応募者が来ない。市内企業に対して夢や将来のビジョンを持ちにくい印象があるようだ。 ▶ 市では、地元企業の協力により、中学 2 年生を対象にキャリア教育の一環として「みらい Walkers★UBE」を開催しており、地元企業で働く方との交流や職場体験を通じて、将来の地元就職につなげることを目指している。親御さんたちにも宇部市の地元企業について理解してもらうことが重要。（市長） ○ もっと商工会議所とのつながりが必要だと考える。市内企業との意見交換を継続的にやってもらいたい。 ○ 成長産業と既存の産業をコーディネートするのが商工会議所や市の役割だと思う。次世代に求められる技術、ノウハウのフィードバックがほしい。 ▶ 商工会議所と市役所は、より密に連携することが必要だと考える。 部会との協議の場も必要。地元企業と行政の情報共有から始める。（市長）
課 題 等	○ 商工会議所と協議の場を設けて連携を強化し、継続的な意見交換と情報共有を行う。